

1 FLOOR GUIDE

知識と交流の空間

**学習意欲と交流深める
新たな教育方式を採用**

生徒たちは登校するとまず、「ホームベース」と呼ばれる学級活動用の教室へ向かいます。朝の会などのホームルーム終了後、それぞれ授業プログラムを確認し、授業が行われる「教科教室」へ移動します。各教科に教室が設けられたことで、専門的な教材の常備や掲示物の展示など、あらかじめ多くの資料が準備でき、今まで以上に内容の深い学習の展開が可能になりました。

また、毎時間移動を行うことで、「次の授業へのスムーズな気持ちの切り替え」や「クラスや学年を越えた生徒同士・教師と生徒の交流が生まれやすい」というメリットもあります。

国語・英語・数学・社会・技術・体育の教科教室を配置した一階には、その中央にパソコン教室と図書室を設置。各教科と連動した学習が行え、「教えてもらう」という学習スタイルから、「生徒自ら学びに向かう」という意識を高める緻密な設計が施されています。

老朽化が進み、耐震強度も不足していた赤池中校舎の改築工事が、約9か月の期間を経て、昨年末に竣工しました。装い新たに誕生した新校舎は、専門教科のみ特別教室を備える従来の学習形態とは異なり、すべての教科の授業を専門教室で行う、「教科センター方式」を導入して設計されました。ここでは、新たな教育に取り組む新校舎の特色をご紹介します。

「新生」赤池中学校

学ぶ意欲を育む教育設備を整えた、生徒たちの未来を築く新校舎が完成。

福智町立赤池中学校（市場336番地） ☎28・2117



コンピューター教室
生徒一人ひとりがコンピュータの基本操作を学べるよう40台のPCを設置。最新の情報教育が受けられます。

ランチルーム (多目的室)
学年集会や異学年交流の「きょうだい班給食」が行える広々とした空間で、クラスや学年を越えた交流が可能。

ホームベース
従来の各クラスにあたるホームベースは、朝の会や給食、学級活動などを行う、生徒たちの安らぎや憩いの場です。



体育館・武道場
各体育種目の公式規格に対応し、2階には応援用スペースも設置。



校舎内・廊下
各教科への移動が多い校舎は廊下も広く設計され、自然と日常的なふれあいが生まれる心地よい空間に。



教科教室
各教科ごとに教室が設けられ、その前には机を配置。生徒同士の語らいや教師への相談・質問の場にも活用できます。



バリアフリー
段差が少なく設計され、エレベーターも完備された校舎は、車いすなどでの移動に配慮されています。

